日経お役立ちNews ニュース

日経お役立ちニュースは、日本経済新聞をお届けしている販売店がお届けしています

ニュース再チェック Check!

新型iPhone計画比10%減産

アップル不振 企業に打撃

株価下落、雇用調整も

米アップルはスマートフォン（スマホ）「iPhone」の新型3機種の生産台数を1～3月に当初計画から10%程度減らす。その余波が電子部品メーカーなど取引先企業にも広がって来た。日本企業各社の関連株価の低迷は昨年10月から鮮明だ。成長著しい中国のスマホ市場（3面参照）での販売減が、iPhoneの売り上げ全体に響く構図になっている。（関連記事朝18面に）

アップルは18年10月に発売した「XR」など3機種の生産調整を迫られている。部品メーカーなどに通知した。調査会社の予測を下回る中国での販売が1月も続いているためだ。1月の発売直後に比べ、今後も半期ごとの減少となる見通しだ。

最高経営責任者（CEO）のティム・クック氏は18日、iPhoneの売り上げ減速の理由について「消費者に敬遠されている」と説明した。日本や米国でも買い替えの周期が長くなる傾向にあるとみている。

アップルの株価は18年10月の最高値から38%下げ、時価総額は8日時点で1551億ドル（約17兆1000億円）と、ピーク時（1兆1000億ドル超）から4000億ドル近く減りした。

投資家の関心は電子部品など関連業界にも広がった。端末メーカーなどに通知した。米マイクロン・テクノロジーなどアップルとの取引に大きく依存する企業への影響が大きいと見られる傾向がある。

アップルは18年10月期の売上高が当初予想より5～10%低い840億ドル（約9兆円）にとどまる見込みと発表しました。「予測を超える中華圏の経済減速」をその理由に挙げています。この発表は世界の金融市場に動揺を与え、世界中で株安が進み、非常時の円買いで円高が進みました。この影響は4日の東京株式市場大発会にも及び、1年前と比べて4,000円近く安い19,561円で取引を終えました。

さらに、アップルは今年1～3月の生産台数を当初計画から10%程度減らすと発表しました。この影響は株式市場だけでなく、電子部品や素材、工作機械など関連する幅広い企業の業績にも打撃を与えます。世界最大のスマホ市場である中国市場は、現行の通信規格「4G」やスマホ決済などのサービスが普及した2016年をピークに2年連続で2桁の減少が続いています。縮小する市場では高級路線のiPhoneではなく現地メーカーの安価なスマホが売り上げを伸ばしています。さらに米中の対立激化もiPhone離れを加速しています。加えて、日本や米国でもiPhoneの高級路線は消費者に敬遠されており、買い替え期間の長期化が進んでいます。

買い替えの長期化が進むのは景気減速の影響もありますが、「５Ｇスマホ」登場への期待があるからかもしれません。次世代通信規格５Ｇは高速かつ大容量の通信が特徴で、通信速度は現行の４Ｇの約100倍。動画表示やフィンテックへの対応、その通信速度を生かした画期的な新サービスの登場などますます便利になりそうです。米国や韓国では今年から本格的に商用サービスが始まる見込みです。

５Ｇスマホを巡っては、素材メーカーなどの開発競争が激化しています。５Ｇではスマホ本体が金属からガラスや樹脂など電波に影響しにくい素材に変わるからです。スマホは部品や素材など関連産業の裾野が広い製品で、今や世界経済のけん引役です。５Ｇスマホの登場は世界経済の大きな刺激になるでしょうが、採用される部品や素材によっては関連産業の業績にも大きな影響を与えそうです。

５Ｇスマホ 素材巡り攻防

ガラス・強化プラ 採用増

金属離れ、加工企業に逆風

米コーニングや帝人

ファナックやブラザー

素材によって特微が異なる

	電波	耐久性	質感	関連メーカー
金属	×	○	○	ファナック、ブラザー工業
ガラス	△	△	○	米コーニングなど
樹脂	○	△	△	帝人など

電波に悪影響。５Ｇでスマホ本体への採用が減る可能性

５Ｇの本命？

質感やコストに課題

2019年1月10日　日本経済新聞朝刊1面（抜粋）　※アップル不振　企業に打撃
2019年1月9日　日本経済新聞朝刊11面　※5Gスマホ　素材巡り攻防

「日経ID決済」でより便利に、もっとおトクに。

日本経済新聞（宅配）の購読料を、クレジットカード払いで。

日経ID決済のメリット
- 日経主催の美術展・イベントなど無料招待・割引
- 日経のデジタルサービスが割引料金でご利用いただけます
- 読者限定のセミナー情報
- 書籍・グッズなどのプレゼント
- WEBでカンタン引っ越し手続き
- 日経STUDYUMに参加いただけます

日経ID決済とは　日本経済新聞（宅配）購読料を、日本経済新聞社へ直接、クレジットカード（日経ID決済）でお支払いいただく月額の決済方法です。

お支払いを「日経ID決済」に切り替えるにはWEBでのお手続きが必要です。
※日経Wプラン（宅配＋電子版）も日経ID決済です。

お客様情報の入力
日経IDをお持ちでない方はメールアドレスのご登録から開始します

お支払い情報の入力
お支払いはクレジットカード払いのみとなります

お手続き完了
お客様ご自身での手続きは以上です

日経ID決済へのご変更はこちらから
http://4946.jp/idh1/

発行　日本経済新聞社大阪本社　販売局マーケット開発部

日経お役立ちNews ニュース

日経お役立ちニュースは、日本経済新聞をお届けしている販売店がお届けしています

ニュース再チェック Check!

新型iPhone計画比10%減産

アップル不振 企業に打撃

株価下落、雇用調整も

「アップル関連銘柄」は世界的に下げが目立つ

	銘柄名	株価騰落率
米国	アップル	▲35.0%
	マイクロン・テクノロジー	▲25.3
	テキサス・インスツルメンツ(TI)	▲12.8
日本	日本電産	▲25.5
	TDK	▲38.2
	村田製作所	▲18.8
韓国	サムスン・エレクトロメカニクス	▲28.5
	サムスン電子	▲13.3
	SKハイニックス	▲11.3
台湾	鴻海精密工業	▲25.9
	台湾積体電路製造(TSMC)	▲17.1
	大立光電	▲10.3
	世界の株価全体	▲10.7

(注)アップル株が最高値を付けた2018年10月3日(韓国は2日)との比較。米国は19年1月8日、アジアは同9日まで。▲はマイナス

5Gスマホ 素材巡り攻防

ガラス・強化プラ 採用増

米コーニングや帝人

ファナックやブラザー

金属離れ、加工企業に逆風

素材によって特徴が異なる

	電波	耐久性	質感		関連メーカー
金属	×	○	○	電波に悪影響。5Gでスマホ本体への採用が減る可能性	ファナック、ブラザー工業
ガラス	△	△	○	5Gの本命?	米コーニングなど
樹脂	○	△	△	質感やコストに課題	帝人など

2019年1月10日　日本経済新聞朝刊1面(抜粋)　※アップル不振　企業に打撃
2019年1月9日　日本経済新聞朝刊11面　※5Gスマホ　素材巡り攻防

わが国がお正月のさなかであった1月2日、米アップルは昨年10～12月期の売上高が当初予想より5～10%低い840億ドル(約9兆円)にとどまる見込みと発表しました。「予測を超える中華圏の経済減速」をその理由に挙げています。この発表は世界の金融市場に動揺を与え、世界中で株安が進み、非常時の円買いで円高が進みました。この影響は4日の東京株式市場大発会にも及び、1年前と比べて4,000円近く安い19,561円で取引を終えました。

さらに、アップルは今年1～3月の生産台数を当初計画から10%程度減らすと発表しました。この影響は株式市場だけでなく、電子部品や素材、工作機械など関連する幅広い企業の業績にも打撃を与えます。世界最大のスマホ市場である中国市場は、現行の通信規格「4G」やスマホ決済などのサービスが普及した2016年をピークに2年連続で2桁の減少が続いています。縮小する市場では高級路線のiPhoneではなく現地メーカーの安価なスマホが売り上げを伸ばしています。さらに米中の対立激化もiPhone離れを加速しています。加えて、日本や米国でもiPhoneの高級路線は消費者に敬遠されており、買い替え期間の長期化が進んでいます。

買い替えの長期化が進むのは景気減速の影響もありますが、「5Gスマホ」登場への期待があるからかもしれません。次世代通信規格5Gは高速かつ大容量の通信が特徴で、通信速度は現行の4Gの約100倍。動画表示やフィンテックへの対応、その通信速度を生かした画期的な新サービスの登場などますます便利になりそうです。米国や韓国では今年から本格的に商用サービスが始まる見込みです。

5Gスマホを巡っては、素材メーカーなどの開発競争が激化しています。5Gではスマホ本体が金属からガラスや樹脂など電波に影響しにくい素材に変わるからです。スマホは部品や素材など関連産業の裾野が広い製品で、今や世界経済のけん引役です。5Gスマホの登場は世界経済の大きな刺激になるでしょうが、採用される部品や素材によっては関連産業の業績にも大きな影響を与えそうです。

「日経ID決済」でより便利に、もっとおトクに。

日本経済新聞(宅配)の購読料を、クレジットカード払いで。

日経ID決済のメリット
- 日経主催の美術展・イベントなど無料招待・割引
- 日経のデジタルサービスが割引料金でご利用いただけます
- 読者限定のセミナー情報
- 書籍・グッズなどのプレゼント
- WEBでカンタン引っ越し手続き
- 日経STUDYUMに参加いただけます

日経ID決済とは　日本経済新聞(宅配)購読料を、日本経済新聞社へ直接、クレジットカード(日経ID決済)でお支払いいただく月額の決済方法です。

お支払いを「日経ID決済」に切り替えるにはWEBでのお手続きが必要です。　※日経Wプラン(宅配+電子版)も日経ID決済です。

お客様情報の入力　日経IDをお持ちでない方はメールアドレスのご登録から開始します
お支払い情報の入力　お支払いはクレジットカード払いのみとなります
お手続き完了　お客様ご自身での手続きは以上です

日経ID決済へのご変更はこちらから
http://4946.jp/idh1/

発行　日本経済新聞社大阪本社　販売局マーケット開発部